

# 学校関係者評価委員会まとめ

平成25年5月20日

目的：学校関係者評価委員会は、本校が作成した自己点検結果報告に基づいて、第三者の立場から評価し、本校の教育の向上に資する提言を行う。

日時：平成25年4月13日（土）午後1時～午後2時20分

場所：本校来賓室

学校関係者評価委員（出席者）：東陶器自治連合会会長 岸田光雄氏

西陶器自治連合会会長 畑中一巳氏

福田自治連合会会長 静又三氏

保護者会会長 藤田孝一氏

同窓会会長 岡村峰代氏

精華高等学校校長 正川昌彦

精華高等学校教頭 二階堂和幸

精華高等学校事務長 森脇雅郎

## 次第

- 1 理事長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 学校概要（建学の精神・教育目標等）についての説明
- 4 平成24年度自己点検結果報告および質疑応答
- 5 1～4の後、学校関係者評価を行う。それぞれの意見は、順不同で列挙する。

## 学校関係者評価

- ① 地域から見ていて、精華高校のレベルが上がって来たと思える。また、全体的にマナーも向上している。
- ② 精華のネームバリューが低いように思う。クラブの活性化をお願いしたい。
- ③ 来訪者を迎える守衛室の体制に、万全を期して頂きたい。

- ④ 吹奏楽部の活躍が目覚ましいが、ひとえに指導者にかかっているのではないか。他のクラブも頑張ってもらいたい。
- ⑤ 教育理念をもっと打ち出すべきだ。一芸に秀でる教育があってもいいのではないか。優れた教育とは、個々人がどう伸びたかで図りたい。
- ⑥ 自転車のマナーを守って通学している。
- ⑦ 大学進学イメージも出て来ている。
- ⑧ かつて精華高校が女子校だった時代には、バス停に校則違反の生徒が目立った。今は全く変わった。この良い傾向をさらに伸ばして頂きたい。
- ⑨ 精華高校は文武両道を目指してほしい。
- ⑩ 特色のある学校を作って欲しい。
- ⑪ 吹奏楽部の活躍を、地域の人間として誇りに思う。
- ⑫ 来訪者に対して、先生方の挨拶が少ない。来訪者を不審な目で見ると先生がいる。
- ⑬ 来賓として見たとき、卒業式における一部の保護者のマナーが良くないように思える。(ジャンパー・コートを着用したまま式に臨む保護者がいる)これが生徒の服装の乱れにつながるのではないかと懸念する。
- ⑭ 全体的に服装の乱れがなくなって来た。公立高校の生徒でもコンビニなどにたむろし、煙草を吸っている生徒もいる。精華の生徒には、コンビニやレストランの前でたむろしないような指導をお願いします。
- ⑮ 地域の評価が上がって来ている。それを継続してほしい。今後更に、制服の着方の指導に力を注いで欲しい。せっかくすばらしい新制服を作られたのだから。
- ⑯ 精華高校が地域の多くの方々に応援して頂いていて、うれしく思う。
- ⑰ 学校は地域の活性化につながる。地域のためにも、さらに精華高校を発展させて頂きたい。

学校の対応：以上の提言を受けて、学内において運営委員会を始め各分掌ごとに、速やかに検証を行い、学校運営に活用することとする。

以上